

平成30年度四万十森林管理署 重点取組事項



四万十森林管理署

四万十町窪川中津川 佛ヶ森山国有林複層林施業箇所

木材の安定供給への取組

- * 製品販売については請負生産事業の早期発注による計画的な事業運営と進行管理の徹底を図り、確実な年間生産量の確保に取り組む。
- * 平成30年度の生産量60,000 m³を20箇所の生産現場で確保し、木材市況や需要動向を踏まえた採材の工夫や有利販売に努める。



立木販売の促進

- * 主伐箇所の立木販売を促進し林産物収入の確保に向け計画的な販売に努める。
(86,000 m³ : 35箇所)
- * 分収育林を含めドローンによる空撮で主伐箇所全体の情報を提供する。
(163,929 m³ : 36箇所)
- * 計画的な更新を図りコンテナ苗の需要の拡大に努める。
- * 併せて、流域全体の林齢構成の平準化を図る。



ICTの導入と活用の促進

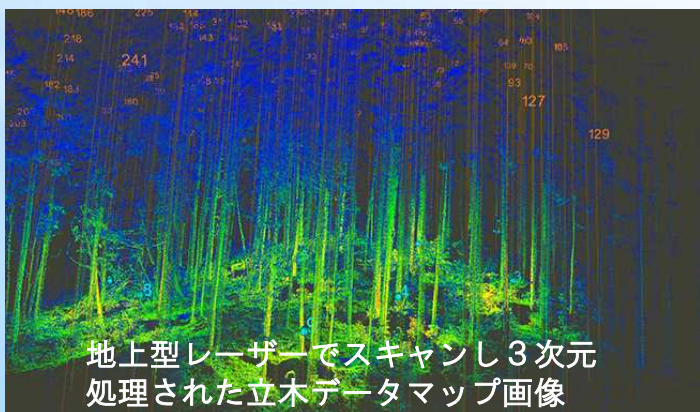
- * ICTの新たな技術を導入し、ドローンやオリワナ通信を活用したシカ対策、GNSSや地上型レーザースキャナを活用した森林調査など、業務の効率化に向けた実証試験等を実施するとともに、技術普及に努める。



無人航空機「ドローン」



シカ捕獲用箱ワナ



地上型レーザーでスキャンし3次元処理された立木データマップ画像

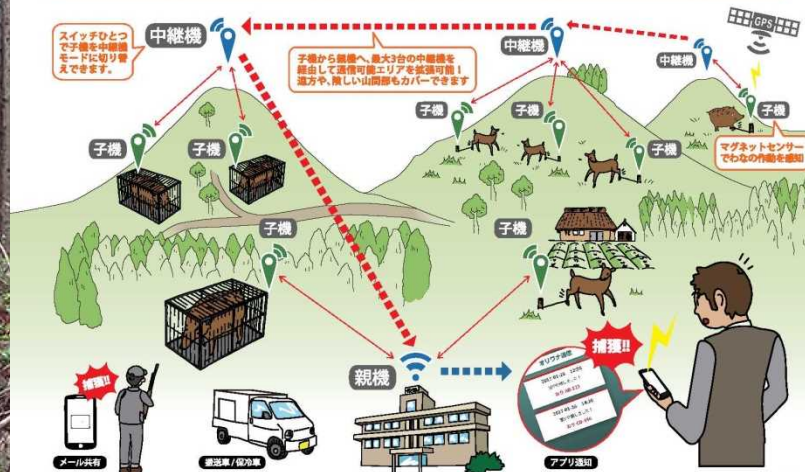
(出典) (株) 森林再生システム



レーザースキャン作業の様子



オリワナ通信によるシカ捕獲システムの概要



(出典) (株) ファーマーズ・アイ

コウヨウザン三次林への取組

- * 当署管内辛川山国有林には、昭和8年に植栽され、昭和63年に一部伐採、萌芽更新し二次林として成林しているコウヨウザンの試験地がある。
- * コウヨウザンは早生樹として注目されており、二次林は国内でも希少な存在。
- * 平成28年12月に四国森林管理局と（独）森林総合研究所林木育種センターによる「コウヨウザン植栽地における共同研究に係る協定」を締結。
- * 平成29年度に一部個体を伐採・搬出し、材質検査等の各分析調査を実施。今後、萌芽状況調査、芽かき等を試験的に行いコウヨウザンの三次林化に取り組む。

